

運転手は、「油断禁物」

◆スピードの出し過ぎ

◆前方不注意

少雪の道内、交通死すでに6人 過去5年で最悪ペース

2016/01/11 07:00

今年に入り、道内で死亡交通事故が続発している。10日現在で4件発生し6人が死亡した。前年同期比4人増で、過去5年では最悪ペース。

原因はスピードの出し過ぎや前方不注意とみられ、道警は「例年より積雪が少なく夏場の感覚で運転している可能性がある。路面状態が良く見えても油断しないで」と注意を促している。

室蘭市では2日、乗用車が信号支柱に衝突し、20代の男性3人が死亡した。4～6日は岩見沢市、オホーツク管内佐呂間町、恵庭市で、それぞれ道路を横断中の70～80代の高齢者が車にはねられ犠牲となった。道警によると、4件はいずれもスリップによる「冬型事故」ではなかった。室蘭の事故では乗用車が破損し、道警幹部は「時速100キロ以上のスピードで衝突した」とみる。ほかの3件は、いずれの運転手も「歩行者に気付くのが遅れた」などと話しているという。例年、初冬にスリップ事故が続発するが、1、2月は積雪によってスピードが出しづらいため、死亡事故は減少傾向になる。今冬は積雪が少ないことによる「気の緩み」(道警幹部)が、死亡事故につながっている可能性があるという。

追突事故の多くが

低速追従時の安心感と油断からくる、車間距離不足と注意力不足

車間距離を十分に！ 滑って、追突を未然に防止

車が動いているときは、いかなる場合も常に、100%運転に集中すること

自分は、事故を起こすはずがない？ 事故に遭うはずがない？

「慣れ」、「過信」に注意！ <“だいじょうぶだろう”は厳禁>

事故の要因は、運転者の

気抜き・手抜き・ぼんやり・わがまま・・・にある

清掃作業員の男性 挟まれ死亡！

2016年1月10日 7時9分

9日午後10時前、東京都のごみ置き場で、60代の清掃作業員の男性が、ゴミを圧縮する機械とコンテナの間に挟まれ、死亡する事故があった。男性は1人で、集まったゴミを機械で圧縮して、コンテナの中に入れる作業をしていたということです。

トラックを止めて作業の男性

酒気帯びの軽乗用車にはねられ死亡

◆作業中は、「ハザード」点灯、相手に、「自分の存在」を知らせよう！◆

2016年1月9日11時07分

9日午前5時ごろ、大阪府の市道でトラックを市道脇に止め、そばのホテルにおしぼりやシーツを搬入する作業をしていた男性(61)が軽乗用車にはねられ、死亡した。車を運転していた男性(67)は病院で治療中。軽乗用車を運転していた男性はタクシー運転手で、呼気からは基準値(呼気1リットル当たり0・15ミリグラム)未満のアルコールが検出された。署員に「家で酒を飲み、ラーメン店に向かっていた」と説明しているという。

駐車中は、「ハザードランプ」の点灯

駐車中のトラックに衝突 男性死亡

2016年1月11日(月)7時0分

10日午前2時10分ごろ、神奈川県で、男性会社員(36)のオートバイが駐車中のトラックに衝突し、男性が死亡した。警察によると、現場は片側2車線の直線。トラックは左側車線に駐車していたと。

佐呂間 午前5時 横断歩道・信号無し
路面凍結 ブレーキ掛けるもスリップ、横断中の女性はねられ死亡

2016.1.9

5日午後5時20分ごろ、佐呂間町内の道道で、徒歩で道路を横断していた88歳の女性に対し、交差進行してきた乗用車が衝突する事故が起きた。女性は収容先の病院で死亡。警察はクルマを運転していた75歳の男性を自動車運転死傷行為処罰法違反(過失傷害)の現行犯で逮捕。遠軽署によると、現場は、片側1車線の直線区間。横断歩道や信号機は設置されていない。事故当時、現場付近の路面は完全凍結状態だった。聴取に対して男は「ブレーキをかけたが、スリップしてしまい、そのまま衝突した」などと供述しているようだ。